



## 平成30年7月豪雨に伴う建設現場被災について

### 概 要

岐阜国道事務所が建設を進めている東海環状自動車道 関広見IC～(仮)高富IC及び、(仮)大野・神戸IC～大垣西IC間の建設現場において、先月末から降り続いた平成30年7月豪雨の影響により、施工中の切土のり面や盛土部分に土砂崩れ等の主な被害が3箇所発見されました。なお、第三者への被害は発生していません。

今後、被災箇所の復旧と対策を早急におこなって参ります。

### 主な被災箇所



## 状況写真

### 発生箇所①



土砂流出 300m<sup>3</sup> (幅15m×高さ15m)

### 発生箇所②



工事地内冠水 10000m<sup>3</sup>  
(事業用地内約300m)

### 発生箇所③



擁壁背面盛土の土砂流出 約150m<sup>3</sup> 等